



2024年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月7日

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所 東
 コード番号 8842 URL <https://www.rakutenchi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 浦井 敏之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 岡村 一 TEL 03(3631)5195
 経営企画・経理担当
 四半期報告書提出予定日 2023年6月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第1四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	2,337	9.2	356	52.9	404	42.4	285	△68.5
2023年1月期第1四半期	2,140	—	232	—	283	—	906	—

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 874百万円 (△31.4%) 2023年1月期第1四半期 1,273百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	47.76	—
2023年1月期第1四半期	151.60	—

(注) 2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会）等を適用しており、2023年1月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっていることから、増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年1月期第1四半期	42,995	32,874	76.5	5,494.81
2023年1月期	42,820	32,419	75.7	5,418.66

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 32,874百万円 2023年1月期 32,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	30.00	—	70.00	100.00
2024年1月期	—	—	—	—	—
2024年1月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,500	1.3	500	△6.9	600	△8.6	400	△66.1	66.87
通期	9,200	2.0	900	△8.7	1,000	△14.0	700	△55.1	117.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年1月期1Q	6,191,218株	2023年1月期	6,511,218株
② 期末自己株式数	2024年1月期1Q	208,425株	2023年1月期	528,260株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年1月期1Q	5,982,900株	2023年1月期1Q	5,979,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が持ち直しているものの、個人消費の回復および企業収益の改善は緩やかであり、海外景気の下振れリスクや物価上昇等の影響に注意する必要があるなど、景気は先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下において、売上高は2,337百万円と前年同期に比べ196百万円(9.2%)の増収となり、営業利益は356百万円と前年同期に比べ123百万円(52.9%)の増益、経常利益は404百万円と前年同期に比べ120百万円(42.4%)の増益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は285百万円と、前年同期に計上した西葛西ビルの譲渡に伴う固定資産売却益などの特別利益1,025百万円がなくなったことなどから、前年同期に比べ620百万円(68.5%)の減益となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、2022年7月に営業を開始した東京楽天地浅草ビル4階のテナント「浅草横町」および2022年2月に取得した「トラビ文京白山」からの賃貸収入が期首から売上高に寄与したこと、各賃貸ビルにおいても堅調に推移したことなどから、売上高は1,177百万円と前年同期に比べ2百万円(0.2%)の増収となりました。なお、2023年3月8日に発表した中期経営計画に掲げた成長戦略の柱の1つとして、新たに2023年3月28日に埼玉県越谷市南越谷所在の複合施設開発用地を取得し、2024年春頃の建物竣工に向け建築工事を進めております。

ビルメンテナンス事業では、厳しい入札競争のもと、意欲的な営業活動に努めたものの、売上高は265百万円と前年同期に比べ11百万円(4.3%)の減収となりました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は1,442百万円と前年同期に比べ9百万円(0.6%)の減収となったものの、セグメント利益は583百万円と前年同期に比べ16百万円(2.9%)の増益となりました。

(娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、「名探偵コナン 黒鉄の魚影(サブマリン)」「THE FIRST SLAM DUNK」「ワールドツアー上映『鬼滅の刃』上弦集結、そして刀鍛冶の里へ」等の作品が好稼働したことなどから、売上高は495百万円と前年同期に比べ125百万円(33.9%)と大幅な増収となりました。

温浴事業では、「天然温泉 楽天地スパ」および「楽天地天然温泉 法典の湯」において、コロナ禍からの回復、およびサウナブームによる顧客の若年層への広がりなどから、売上高は274百万円と前年同期に比べ55百万円(25.5%)と大幅な増収となりました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート錦糸町」において、お客さまの支持のもと、売上高は17百万円と前年同期に比べ2百万円(16.8%)の増収となりました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は788百万円と前年同期に比べ183百万円(30.4%)と大幅な増収となり、セグメント利益は87百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)と前年同期に比べ改善いたしました。

(飲食・販売事業)

飲食事業では、2022年12月の価格改定およびコロナ禍からの回復などから、売上高は46百万円と前年同期に比べ11百万円(32.7%)と大幅な増収となりました。

販売事業では、東京楽天地浅草ビル内の小売店「まるごとっぽん」が各種メディアに取り上げられ、浅草地区への来街者数も増加傾向にあることなどから、売上高は60百万円と前年同期に比べ10百万円(21.3%)の増収となりました。

以上の結果、飲食・販売事業の売上高は106百万円と前年同期に比べ21百万円(26.0%)の増収となり、セグメント損失は5百万円(前年同期はセグメント損失17百万円)と前年同期に比べ改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は42,995百万円と前連結会計年度末に比べ175百万円の増加となりました。これは主として、埼玉県越谷市南越谷所在の複合施設開発用地の取得代金および建物建築代金の一部を支払ったことなどから現金及び預金が1,644百万円減少したものの、当該物件の土地の取得および建設仮勘定の計上により有形固定資産が891百万円増加したこと、および株価の上昇等により投資有価証券が877百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は10,120百万円と前連結会計年度末に比べ279百万円の減少となりました。これは主として、保有株式の含み益に係る繰延税金負債が増加したことなどからその他の固定負債が260百万円増加したものの、未払法人税等が305百万円減少したこと、および借入金を253百万円返済したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は32,874百万円と前連結会計年度末に比べ454百万円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が1,338百万円減少したものの、自己株式が消却などにより1,205百万円(△の減少)増加し、その他有価証券評価差額金が588百万円増加したことによるものであります。なお、利益剰余金の減少は、親会社株主に帰属する四半期純利益を285百万円計上したものの、自己株式の消却などにより1,205百万円減少したこと、および配当金の支払いにより418百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年3月8日発表の数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,251,844	1,607,811
売掛金	359,171	444,490
リース投資資産	788,149	783,394
その他	220,309	213,725
流動資産合計	4,619,475	3,049,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,071,497	20,714,232
土地	6,414,998	7,281,628
建設仮勘定	33,880	442,680
その他(純額)	405,806	378,791
有形固定資産合計	27,926,182	28,817,332
無形固定資産	273,820	273,062
投資その他の資産		
投資有価証券	9,574,721	10,452,311
その他	425,975	403,054
投資その他の資産合計	10,000,697	10,855,365
固定資産合計	38,200,700	39,945,761
資産合計	42,820,175	42,995,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,058	482,976
1年内返済予定の長期借入金	1,014,000	1,014,000
未払法人税等	419,385	113,508
賞与引当金	64,255	117,721
その他	1,554,981	1,422,027
流動負債合計	3,436,681	3,150,233
固定負債		
長期借入金	2,831,500	2,578,000
退職給付に係る負債	665,299	658,460
資産除去債務	547,753	550,131
受入保証金	1,658,217	1,662,630
その他	1,261,121	1,521,436
固定負債合計	6,963,892	6,970,657
負債合計	10,400,573	10,120,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,379,675	3,378,537
利益剰余金	24,542,662	23,204,552
自己株式	△1,991,226	△785,710
株主資本合計	28,977,146	28,843,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,442,455	4,030,877
その他の包括利益累計額合計	3,442,455	4,030,877
純資産合計	32,419,602	32,874,292
負債純資産合計	42,820,175	42,995,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
売上高	2,140,852	2,337,496
売上原価	1,576,397	1,656,521
売上総利益	564,455	680,974
販売費及び一般管理費	331,576	324,938
営業利益	232,879	356,036
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	942	—
持分法による投資利益	27,952	28,853
固定資産売却益	—	11,230
回数券退職益	19,336	9,591
その他	9,273	3,239
営業外収益合計	57,515	52,927
営業外費用		
支払利息	5,282	3,888
その他	1,232	877
営業外費用合計	6,515	4,766
経常利益	283,878	404,197
特別利益		
固定資産売却益	922,692	—
助成金等収入	53,838	—
投資有価証券売却益	48,848	—
特別利益合計	1,025,379	—
税金等調整前四半期純利益	1,309,257	404,197
法人税等	402,822	118,428
四半期純利益	906,435	285,768
親会社株主に帰属する四半期純利益	906,435	285,768

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	906,435	285,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	367,235	588,421
その他の包括利益合計	367,235	588,421
四半期包括利益	1,273,671	874,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,273,671	874,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,309,257	404,197
減価償却費	397,463	402,956
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,291	△6,839
受取利息及び受取配当金	△951	△13
助成金等収入	△53,838	—
支払利息	5,282	3,888
持分法による投資損益(△は益)	△27,952	△28,853
有形固定資産売却損益(△は益)	△922,692	△11,230
有形固定資産除却損	15,171	520
売上債権の増減額(△は増加)	2,132	△85,319
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,632	△8,427
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,910	98,917
未払消費税等の増減額(△は減少)	76,293	△94,540
未払費用の増減額(△は減少)	5,142	△26,095
未払金の増減額(△は減少)	16,755	△3,007
その他	50,709	81,203
小計	862,523	727,359
利息及び配当金の受取額	951	13
助成金等の受取額	53,838	—
利息の支払額	△5,273	△3,888
コミットメントフィーの支払額	△690	△887
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△65,171	△366,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	846,177	356,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,682,507	△1,346,905
有形固定資産の売却による収入	1,874,858	12,504
有形固定資産の除却による支出	△41,647	△45,099
投資有価証券の売却による収入	98,298	—
受入保証金の増加による収入	39,623	4,559
受入保証金の償還による支出	△93,225	△212
その他	21,665	21,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,065	△1,353,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△501,000	△253,500
リース債務の返済による支出	△472	—
自己株式の取得による支出	△154	△693
配当金の支払額	△167,610	△392,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△669,237	△647,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	394,005	△1,644,033
現金及び現金同等物の期首残高	2,254,025	3,230,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,648,031	1,586,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年3月8日開催の取締役会決議に基づき、2023年3月15日付で自己株式320,000株の消却を実施いたしました。当該消却により、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が1,137千円、利益剰余金が1,205,072千円それぞれ減少し、自己株式が1,206,209千円(△の減少)増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年2月1日至2022年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	不動産賃貸 関連事業	娯楽サービス 関連事業	飲食・販売 事業	計		
売上高						
ビルメンテナンス	277,455	—	—	277,455	—	277,455
映画興行	—	370,399	—	370,399	—	370,399
温浴	—	218,730	—	218,730	—	218,730
その他	—	15,324	84,523	99,847	—	99,847
顧客との契約から 生じる収益	277,455	604,454	84,523	966,433	—	966,433
その他の収益(注3)	1,174,419	—	—	1,174,419	—	1,174,419
外部顧客への売上高	1,451,875	604,454	84,523	2,140,852	—	2,140,852
セグメント間の内部 売上高または振替高	84,921	—	622	85,543	△85,543	—
計	1,536,796	604,454	85,145	2,226,396	△85,543	2,140,852
セグメント利益または損失(△)	566,918	△1,976	△17,271	547,669	△314,790	232,879

(注)1 セグメント利益または損失の調整額△314,790千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△308,764千円、セグメント間取引消去△6,026千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年2月1日至2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	不動産賃貸 関連事業	娯楽サービス 関連事業	飲食・販売 事業	計		
売上高						
ビルメンテナンス	265,532	—	—	265,532	—	265,532
映画興行	—	495,900	—	495,900	—	495,900
温浴	—	274,449	—	274,449	—	274,449
その他	—	17,893	106,509	124,402	—	124,402
顧客との契約から 生じる収益	265,532	788,243	106,509	1,160,285	—	1,160,285
その他の収益(注3)	1,177,210	—	—	1,177,210	—	1,177,210
外部顧客への売上高	1,442,743	788,243	106,509	2,337,496	—	2,337,496
セグメント間の内部 売上高または振替高	82,485	69	709	83,264	△83,264	—
計	1,525,229	788,312	107,218	2,420,761	△83,264	2,337,496
セグメント利益または損失(△)	583,224	87,689	△5,735	665,178	△309,142	356,036

(注)1 セグメント利益または損失の調整額△309,142千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,383千円、セグメント間取引消去△6,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。